

日吉台地下壕保存の会 講演会のお知らせ

日 時: 2017年6月10日(土) 13:00~14:45

場 所: 慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎シンポジウムスペース

講 師: 遠藤 美幸 氏 神田外語大学非常勤講師

演 題: 『『戦場体験』を受け継ぐということ

——ビルマルートの拉^ら孟^{もう}全滅戦の生存者を尋ね歩いて——」

主 催: 日吉台地下壕保存の会

☆参加費は無料、事前予約不要です。どなたでもご参加できます。

【講師から（講演内容）】1944年9月7日、約4万の中国軍により約1300名の拉孟守備隊は全滅します。講師の奇縁に導かれた四半世紀にわたる拉孟戦研究の軌跡をお話します。その結果見えてきた拉孟戦とは？補給路が絶たれ孤立無援の拉孟守備隊の運命は？前線の慰安所と運命に翻弄される「慰安婦」の実像とは？連合軍側の一次史料、元兵士たちの聞き取り及び手記など用いて、多面的で矛盾に満ちた凄惨な戦場のリアルな姿を明らかにします。また、現在の中国雲南省およびビルマの戦場跡なども映像でご紹介したいと思います。最後に、元兵士らの戦場体験を、戦場体験のない「市民」が受け継ぐことの意味と意義を皆さんとともに考えてみたいと思います。

【講師のプロフィール】慶應義塾大学大学院（経済学研究科）卒。かつて日航（JAL）の国際線客室乗務員時代に、機内で偶然の乗客（元兵士）との出会いから、拉孟研究を手がけるに至る。現在、神田外語大学非常勤講師（歴史学）。専攻は、英国社会史、英国女性史、ビルマ戦史。日吉台地下壕保存の会運営委員。不戦兵士・市民の会理事。

【著書】『『戦場体験』を受け継ぐということ』（高文研、2014年）

【インタビュー記事】「戦場体験をなぜ聞くのか」『世界』（岩波書店、2016年、5月号）

☆講演会終了後、15:00~16:00の予定で、2016年度日吉台地下壕保存の会総会が行われます。